

2023年3月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が回復し、消費関連が持ち直している。一方、雇用情勢は横ばい、生産活動、投資関連が弱含み、畜産関連が低迷している。足元では、物価高騰が収まりを見せないものの、コロナ禍からの社会経済活動再開の動きが続き、全体として回復傾向が続いている。

生産活動は、12月の鉱工業生産指数が6か月連続で前年を下回った。食料品は前年をやや上回ったものの、窯業・土石製品、電子部品・デバイスは前年を下回った。

畜産関連では、2月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を下回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、2月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数、1月の百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア、コンビニエンスストア販売額は前年を上回り、家電大型専門店ほぼ前年並みとなった。

観光関連では、2月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、2か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額は前年を上回ったものの、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、1月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.36倍となった。

【生産活動】... 弱含み

電子部品関連は、5G関連は堅調だが、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きがみられる。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

1月の焼酎生産は、2か月連続で前年を上回り、出荷量はほぼ前年並みとなった。

1月のかつお節生産は、4か月連続で前年を上回った。

2月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが4か月連続で前年を下回り、民間工事向けは6か月連続で前年を下回り、全体では6.5%減と6か月連続で前年を下回った。

2月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 低迷

2月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。2月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4は2.6%減と4か月連続で前年を下回り、去勢A3は3.8%減と6か月連続で前年を下回った。1月の枝肉生産量は前年を上回った。

2月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は15.1%増と2か月連続で前年を上回った。1月の枝肉生産量は前年を下回った。

2月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は24.0%増と8か月連続で前年を上回り、むね肉は28.4%増と37か月連続で前年を上回った。2月の処理羽数は前年を上回った。

1月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は86.9%増と6か月連続で前年を上回った。1月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 持ち直し

1月の百貨店・スーパー販売は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では16か月連続で前年を上回った。

1月の専門量販店販売額は、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回り、家電大型専門店はほぼ前年並みだった。

2月の乗用車新車登録台数は、2か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は67.1%増、小型車が4.9%減となった。

2月の軽自動車届出台数は6か月連続で前年を上回った。

【観光関連】... 回復

2月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、全国旅行支援効果や、前年のまん延防止等重点措置の影響の反動から、2か月連続で前年を上回った。九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加した。

鹿児島地区は、九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、7か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東、九州などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、2か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東、九州などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、2か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区、奄美地区ともに2か月連続で前年を上回った。

2月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... 弱含み

2月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

1月の民間建築工事着工は、棟数は前年を下回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を上回った。

1月の新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回り、貸家がほぼ前年並みとなったものの、持家が前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年をやや上回り、0.7%増となった。

1月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、4か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

1月の輸出額は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブが前年を上回ったものの、再輸出品、食料品及び動物、木材が前年を下回り、全体では76.2%減と2か月ぶりに前年を下回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で108.1%増と22か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】... 横ばい

1月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.36倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、医療・福祉は前年を上回り、卸小売は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

1月の県内金融機関の貸出金残高は前年を2.2%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が8件で前年同月（3件）を上回った。また負債総額は4億3百万円で前年同月（1億21百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)